



地域住民の防災・減災に対する意識の向上、体制の強化

平地農業地域

タケシゲサトヤマノカイ

竹重里山の会（福岡県うきは市）

- 本地域は、農地と工場が立地する地域で、農村地域の過疎化による農業従事者の高齢化、混住化等の進行に伴い集落機能の低下がみられ、共同活動の困難化により担い手農家の負担増が懸念される。
- 基幹水路沿の集落は低平坦部で毎年のように冠水の被害を被っているが排水施設の適切な管理が生活環境保全に欠かせないため、地域全体で取り組んでいる。

【R3地区概要】

- ・認定農用地面積14ha
（田13ha、畑1ha）
- ・資源量 水路5.1km
農道3.5km
- ・主な構成員
農業者、自治会、子供会等
- ・交付金 約1百万円

（ 農地維持支払
資源向上支払（共同、長寿命化） ）

活動開始前の状況や課題

- 水田地帯であった土地の開発と末端水路が住居と並行していることで、近年の豪雨により溢水が頻繁に起きている。



水路の管理



水門の管理

取組内容

- 点検・機能診断の際や降雨後の状況確認を通じて、施設の浸食や破損箇所が見られた場合早急に対策を講じる。
- 水路に3カ所ある沈砂池(簡易防火水槽)の泥上げを行う。



水路の補修

取組の効果

- 防災・減災に関する勉強会を開催し防災に対する意識の向上を図った。
- 梅雨前に水門ゲートや河口口の点検を行うことにより、防災に備える。
- 簡易防火水槽の役目を担う沈砂池に一定量の土砂が堆積したら地域住民の協力を仰ぎ土砂撤去を行う。



水門ゲートの点検